

TEAM IMPUL

Race result report



2014年 SUPER FORMULA シリーズ 第3戦
静岡県 富士スピードウェイ
(2014年7月12日～7月13日)

Hoshino Racing Co.,Ltd.

SUPER FORMULA 2014 Round3 FUJI SPEEDWAY Race Report 2014.7.12~13

LENOVO TEAM IMPUL No.19 J.P de Oliveira
No.20 Narain Karthikeyan



オリベ이라、トップ快走も雨に翻弄され優勝逃す カーティケヤンも一時3位まで順位上げるも無念、7位

2か月のインターバルを挟み久々のレース開催となったSUPER FORMULA。前戦富士では2レース制の中、ジョアオ・パオロ・デ・オリベ이라がレース1優勝とレース2を2位で終え、ナレイン・カーティケヤンもレース1を7位にレース2を6位と入賞を果たしランキングもトップとの差を縮めてきています。台風一過で気温が一気に上昇して真夏日となった厳しいコンディションの下、レースは行われました。



7/12(土)公式予選 天候:曇り コース:ドライ 気温:26.3℃ 路面温度:34℃

午前中から晴天に恵まれていた富士スピードウェイでしたが、予選開始前から曇り空に覆われます。雨の心配はありませんでしたが、気温が若干下降し、ノックダウン予選は14:45からQ1がスタートしました。Q1は20分間で行われました。セッション開始直後からオリベ이라とカーティケヤン2台ともコースインしてマシンの感触を確かめていきます。プリウスコーナー手前のコースサイドでストップしたマシンがあったため、開始7分で赤旗中断となりますが、残り15分でセッション再開。ピットに戻りタイミングを見計らいながら残り4分を切るところで全車一斉にコースインしていきます。まずはオリベ이라が1.24.407のタイムでトップに立ちます。続けて次のアタックで1.24.177をマークして自らのタイムを更新します。しかし直後にタイムを塗り替えられQ1は2位通過に甘んじました。一方のカーティケヤンは1.24.967のタイムで11位でしたがQ2進出を果たしました。

続く予選Q2は7分間で行われました。15:19に開始、オリベ이라とカーティケヤン、LENOVO TEAM IMPULの2台が先頭でコースインしていきます。残り2分を切るところで続々とアタック合戦。オリベ이라は1.24.042、続けて1.23.751のタイムで堂々Q2をトップ通過。PP獲得に向けて盤石の態勢を敷きます。カーティケヤンもQ3進出目指してアタックを展開していきますが、1.24.380のタイムをマークするもライバル勢に後塵を拝し、残念ながら今季初めてQ3に進めずに予選を終了してしまいました。11位から明日の決勝を巻き返すこととなりました。

ポールポジションを決するQ3も7分間のアタック時間。オリベ이라はまたも先頭でコースインしていきます。念入りにウォームアップをこなしたアタックラップに入るも、コカ・コーラコーナーで若干行き過ぎてタイムロスをしてしまいました。直後のアタックラップで1.23.729をマークしてトップに立つも、No.8 アンドレア・カルダレッリ選手(KYGNUS SUNOCO Team LeMans)にタイム更新を許し、2位、フロントローからの決勝スタートとなりました。



7/13(日) 決勝レース 天候:曇り→雨 コース:ドライ→ウエット 気温:22℃ 路面温度:25℃
決勝レース距離 4.563km× 55laps = 250.965km

富士スピードウェイは決勝スタート前から雨が降り、ウォームアップラン時にはウェット宣言が出されるなど不安定なコンディションでした。スタート時には雨は上がり、全車路面も乾いたためスリックタイヤでのスタート。14:00にフォーメーションラップがスタートしました。オリベイラは2位フロントローから、カーティケヤンは11位からスタート。動きだし絶妙なスタートを決めたオリベイラはPPスタートのNo.8 アンドレア・カルダレッリ選手(KYGNUS SUNOCO Team LeMans)の前に出て1コーナーをトップ通過。そのまま後続を一気に引き離しにかかります。カーティケヤンは10位にひとつポジションを上げることに成功。3周目には一時9位に上がりますが、4周目には再び10位となってしまいます。トップ走行のオリベイラは10周目には2位に+3.224差をつけ、20周目には+5.219差に拡げ、好走を見せます。この決勝日に33歳の誕生日を迎えたオリベイラはなんとしてもバースデイウィンを飾りたいところ。55周周回の半分に当たる22周目から早いところはピットインを始めます。そんな中、カーティケヤンはピット作業を終えたマシンに詰まってしまったNo.1 山本尚貴選手(TEAM 無限)を一気に射程圏内に捉え、ホームストレートエンド1コーナーでオーバーテイク、9位となります。オリベイラはペースを全く落とさずに安定した走りで行く。30周目にカーティケヤンがピットイン。続く33周目にオリベイラもピットイン。メカニックはミスなく迅速な作業で2台をコースへと送り返します。全車ピット作業を終えトップキープしたままのオリベイラは40周目にこのレースのファステストラップとなる1.24.789をマーク、41周目には2位以下へ+8.014差で優勝に向けてひたすら突っ走りまわした。しかし、44周目に雨が降り始め、徐々に雨量が増えたコース上マシンをコントロールするのも難しくなってくるドライバーも出始めます。この状況の中、2位までポジションを上げてきたNo.36 アンドレ・ロッテラー選手(PETRONAS TEAM TOM'S)に一気に+2秒にまで差を縮められてしまいました。そしてなんとプリウスコーナー立ち上がり、最終コーナーの手前で、クラッシュしていた他車を避けるためラインを変えたところ雨に乗ってしまったオリベイラはまさかのスピン。コース上にストップしてしまい、セーフティーカー導入のきっかけを作り万事休します。この間にピットインしウエットタイヤに履き替えたマシンがいた中でコース上にステイする作戦を選択したカーティケヤンは3位までポジションを上げます。53周目に残り3周でレースリスタートしますが、ウエットタイヤ勢に歯がたたず、一気にポジションを下げてしまいます。ウエットタイヤ勢はトップ争いを激化させた中、コース上にステイするのに精一杯だったスリックタイヤ勢の1台だったカーティケヤンは7位でフィニッシュとなりました。オリベイラは7週の周回遅れとなり、リタイア扱いとなりました。

雨が降るまでは文字通りぶっちぎりのレースを見せていたオリベイラただだけにこの結果は悔やまれますが、マシンは好調で非常に走りを見せました。カーティケヤンも上位陣に肉薄するシーンもを見せて今後の期待を含む内容となりました。次戦ツインリンクもてぎ戦でも予選からトップのみを目指すレースを繰り広げます。今後ともご支援ご協力お願い致します。

チームインパル ゼネラルマネージャー
金子 豊



スタート直後



後続車に明確な差をつけた2 Lap目のJP



1コーナー進入直前

LENOVO TEAM IMPUL 2014年シーズン ここまでの戦績

第1戦	鈴鹿	オリベ이라	予選5位	決勝7位	/	カーティケヤン	予選2位	決勝リタイア
第2戦	富士	オリベ이라	予選PP・2位	決勝優勝・2位	/	カーティケヤン	予選8位・8位	決勝7位・6位
第3戦	富士	オリベ이라	予選2位	決勝リタイア	/	カーティケヤン	予選11位	決勝7位

ドライバーランキング	オリベ이라	5位	/	カーティケヤン	10位	(第3戦富士終了時点)
チームランキング	LENOVO TEAM IMPUL 4位					(第3戦富士終了時点)

TEAM IMPUL Next Race Information

SUPER GT 第4戦 7/19(土)~7/20(日) スポーツランドSUGO

SUPER FORMULA 第4戦 8/23(土)~24(日) ツインリンクもてぎ

協賛各社様

トヨタ自動車株式会社

レノボ・ジャパン株式会社

株式会社ブリヂストン

EMG マーケティング合同会社

エンケイ株式会社

日本特殊陶業株式会社

株式会社不二 WPC

タタ・モーターズ

株式会社アライヘルメット

プーマジャパン株式会社

株式会社銀座千疋屋

キーバ株式会社

株式会社ホシノインパル

順不同・敬称略



レノボジャパンのクリストファー氏



監督、JPのバースデーのお祝い



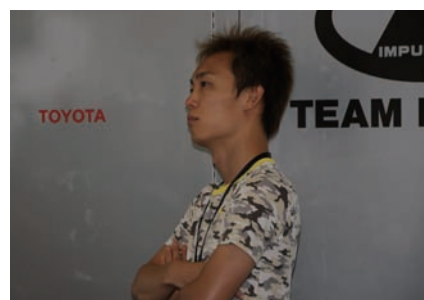
フレンド?



かつての僚友の二人。



スタート前、通訳の一樹と。



スーパーGTのチームメイト安田も応援に。



大人気の西村いちか さん



大人気の佐崎愛里さん



監督のプライベートカー IMPUL M56、速いです。

監督・ドライバーからのコメント

星野一義

う〜ん、残念だがこれもレース。ただJPと車の速さには自信を持てたし残りのレース頑張っていきたい。ナレインは予選でもう少し前に行きたいな。

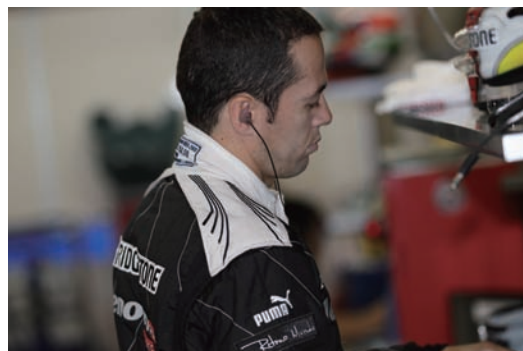


No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

僕のミスで勝ちを逃しガッカリしている。金曜日のフリー走行では電気系の不調で走行できなかったので少し不安があったが、土曜日の走行で車の仕上がりに自信を持てた。予選はQ3のアタックラップで失敗し、すぐやり直したがダメだった。でもレースは自信があったいい展開だったが…。シリーズはまだあるし追いつけると思う。

No.20 ナレイン・カーティケヤン

レース後半雨が降ってきて大変なレースだった。予選では0.2秒〜0.3秒最低でも詰めないといけないと感じている。これから初めてのサーキットやしばらく走っていないコースが続くのでフリー走行での仕事大切です。



SF RESULT: 決勝結果

天候:曇り→雨 コース:ドライ→ウエット 気温:22℃ 路面温度:25℃
決勝レース距離 4.563km× 55laps = 250.965km

■ Race (55Laps)							2014.7.13
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	55	1:26'37.171	173.629 km/h	1'25.226
2	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	55	1:26'37.951	0.780	1'25.204
3	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	55	1:26'40.390	3.219	1'25.157
4	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	55	1:26'41.121	3.950	1'25.256
5	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	55	1:26'43.292	6.121	1'25.754
6	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	55	1:27'06.577	29.406	1'24.867
7	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	55	1:27'14.733	37.562	1'25.219
8	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	55	1:27'15.786	38.615	1'25.129
9	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	55	1:27'31.752	54.581	1'26.141
10	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	55	1:28'00.476	1'23.305	1'26.385
11	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	54	1:26'59.259	1Lap	1'26.498
12	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	54	1:27'30.263	1Lap	1'26.007
13	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	49	1:26'57.764	6Laps	1'26.661
以上完走							
	19	J.P.デ・オリベイラ J.P.L.De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	48	1:09'52.524	7Laps	1'24.789
	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	47	1:09'44.510	8Laps	1'26.120
	8	アンドレア・カルダレリ Andrea Caldarelli	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	44	1:03'51.134	11Laps	1'24.893
	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	35	54'31.361	20Laps	1'26.281
	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E	25	1:06'37.834	30Laps	1'25.916
	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	0			

開始時刻: 14:03'52

車両: SF14 / タイヤ: プリヂェストン

終了時刻: 15:30'29.171

セーフティカー導入時刻: 15:14 - 15:25 (48Laps - 51Laps)

規定周回数 49Laps

FASTEST LAP:

No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ /

Lenovo TEAM IMPUL SF14 1'24.789 40/48 193.737km/h

SF RESULT: 公式予選結果

天候:曇り コース:ドライ 気温:26.3℃ 路面温度:34℃

■ Qualifying				2014.7.12		
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2	Q3
1	8	アンドレア・カルダレリ Andrea Caldarelli	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'24.382	1'24.088	1'23.667
2	19	J.P.デ・オリベイラ J.P.L.De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'24.177	1'23.751	1'23.729
3	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'24.437	1'24.074	1'23.730
4	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'24.092	1'24.017	1'23.751
5	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'24.579	1'23.774	1'23.858
6	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'24.230	1'24.056	1'23.943
7	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	1'24.624	1'24.259	1'23.965
8	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'24.871	1'24.243	1'27.161
9	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'24.897	1'24.350	
10	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	1'24.728	1'24.366	
11	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'24.967	1'24.380	
12	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	1'25.232	1'24.936	
13	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	1'24.988	1'24.955	
14	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E	1'25.054	1'25.070	
15	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	1'25.237		
16	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	1'25.393		
17	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	1'25.430		
18	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	1'25.550		
19	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'27.048		

Q1: 開始時刻: 14:45 / 終了時刻: 15:09

Q2: 開始時刻: 15:19 / 終了時刻: 15:26

Q3: 開始時刻: 15:36 / 終了時刻: 15:43

車両: SF14 / タイヤ: プリヂストン

赤旗中断時刻(Q1): 14:51 - 14:56

予選通過基準タイム (Q1-107%) 1'29.978

No.41 大会特別規則書第28条(ピットレーン入り口のホワイトラインカット)違反により、予選結果より3グリッド降格のペナルティーを科す。

SF RANKING

■ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Total
1	37	中嶋 一貴	3	4	3	10				20
2	36	アンドレ・ロツテラー	5	2.5	6	3				16.5
3	8	ロイック・デュバル	10	3	2.5	-				15.5
4	7	平川 亮	5	-	0.5	8				13.5
5	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	2	6	4	-				12
6	38	石浦 宏明	6	-	-	5				11
7	3	ジェームス・ロシター	8	1.5	-	1				10.5
8	39	国本 雄資	-	2	1	6				9
9	1	山本 尚貴	-	-	2	4				6
10	20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン	-	1	1.5	2				4.5
11	11	ヴィタントニオ・リウッツィ	1	0.5	-	-				1.5
12	8	アンドレア・カルダレッリ	-	-	-	1				1
	31	中嶋 大祐	-	-	-	-				
	18	中山 雄一	-	-	-	-				
	41	武藤 英紀	-	-	-	-				
	40	野尻 智紀	-	-	-	-				
	2	中山 友貴	-	-	-	-				
	62	嵯峨 宏紀	-	-	-	-				
	32	小暮 卓史	-	-	-	-				
	10	塚越 広大	-	-	-	-				

■ Team ranking

Po	Team	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	7	6.5	8	13				34.5
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	15	3	3	8				29
3	P.MU/CERUMO-INGING	6	2	1	11				20
4	Lenovo TEAM IMPUL	2	6	5.5	2				15.5
5	KONDO RACING	8	1.5	-	1				10.5
6	TEAM 無限	-	-	2	4				6
7	HP REAL RACING	1	0.5	-	-				1.5
	NAKAJIMA RACING	-	-	-	-				
	KCMG	-	-	-	-				
	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	-	-	-	-				
	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	-	-	-	-				

